

# 波止場

観賞日 2017・11・6

制作 1954年 米国

公開 1954年

上映時間 107分

監督 エリア・カザン 出演 マーロン・ブランド、エヴァ・マリー・セイント

受賞 1954年アカデミー「作品」、「監督」、「主演男優」、「助演女優」賞  
等8部門受賞、昭和29年キネマ旬報第4位

## 【あらすじ】

ボクサーくずれのテリー〔M・ブランド〕は沖仲士を牛耳るボスの〔リー・ジー・コップ〕の配下だった。ある日テリーは兄のチャーリー〔ロッド・スタイナー〕がボスの指示で仲間の一人を殺すのを目撃してしまう。被害者の妹のイデイ〔エヴァ・マリー・セイント〕の嘆く姿に心を動かされて、テリーは波止場の神父に真相を告白。しかしジョニーはチャーリーも殺害。テリーは意を決して法廷に立ち、ジョニーの犯罪を証言する。

## 【解説】

1948年、ニューヨークのサン紙の記者が港湾労働者の実態を記事にし、この記事をもとにエリア・カザンが映画化した。港湾労働者社会のギャング支配による不正を告発するこの作品は、初めハリウッドのプロデューサーの理解を得られず、映画化は難航したが、後に「アラビアのロレンス」のプロデューサー、サム・スピーゲルが名乗りを挙げた。撮影はニューヨーク港を中心としてオールロケーションで行われ、まるでドキュメンタリー映画のような映像がくりひろげられる。カザンの主宰するアクターズスタジオ出身の役者たちの巧みな演技、さらにレナード・バーンスタインの緊張感ある音楽も物語の世界を深めている。

エリア・カザンは2003年93歳で他界した。トルコからの移民という劣等感から25歳で共産党に入党したが、第二次大戦後、1952年非米活動委員会による「赤狩り」の聴聞会で国家への忠誠を誓って、かつての仲間の名前を公表し、人々の反感を買った。この汚名は死ぬまで続いたという。この映画のテリーの証言の場面は、カザンの自己弁護だったといわれている。

マーロン・ブランドは当時29歳。波止場から悪の一味を追求する立場に転ずる孤独な男を演じて1954年アカデミー主演男優賞を受賞している。この作品は「作品」、「監督」、「助演女優」、など合計8部門のアカデミー賞を受賞している。